

マラヤ国鉄整備事業



クアラルンプール駅（17:00頃夕刻の帰宅ラッシュ時）

借款概要

| | |
|---------|--------------------|
| 承諾額/実行額 | 19,444百万円/4,667百万円 |
| 借款契約調印 | 1990年3月 |
| 借款契約条件 | 金利2.9%、返済25年（据置7年） |
| 貸付完了 | 1995年7月 |

事業概要

クアラルンプールとその周辺のクランバレー地域に、都市型の通勤交通手段として鉄道による大量輸送システムを導入すると共に、同地域の貨物輸送能力の向上も実施し同地域の道路交通渋滞の緩和にも資するもの。

評価結果

本事業の事業内容は、同国政府が借款契約締結後に事業対象路線の電化を決定したため、ディーゼル車両をベースとした計画が大幅に修正された。この結果、円借款対象部分は、一部の橋梁建設、対象地域の信号・通信設備の整備等に縮小された。

通勤電車の運行状況は良好で、利用者数は事業実施後大幅に増加している。本事業により、通勤手段としての電車利用が促進されたことがわかる。また通勤線の新設駅周辺に新たな住宅地が開発されるなど、周辺地域経済へのインパクトも認められている。他方、貨物輸送については、アジア経済危機の影響もあり、ここ数年伸び悩んでいる。

維持管理については、車両はマレーシア鉄道公社が、軌道は鉄道資産公社が担当しており、特段の問題はない。